

研究・研修計画

<p>〔テーマ2〕</p> <p>糖尿病性腎症の重症化予防のための指導ツールの作成</p> <p style="text-align: right;">担当教員 生活科学科准教授 駒田亜衣</p>	
<p>テーマ解説</p>	<p>津市国民健康保険において、人工透析が必要な慢性腎不全の医療費は高額であり、その患者数は増加傾向で、特に糖尿病性腎症による人工透析は増加している。そのような中、三重県において、糖尿病性腎症重症化予防を推進するため、三重県糖尿対策推進会議が中心となり平成29年12月に「三重県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が作成され、「糖尿病性腎症重症化予防に係る三重県連携協定」が締結された。</p> <p>津市では生活習慣の改善により重症化予防が期待できる糖尿病性腎症患者に対して、行政(保険者)と医療機関が連携して保健指導による介入を行い、重症化を予防し医療費の適正化を図ることを目的に、糖尿病性腎症重症化予防事業を平成28年度より外部委託にて実施してきた。今後は、津市第2期国民健康保険保健事業実施計画に基づき、市で直接実施する予定である。</p> <p>そこで本研究・研修では、各市町村で使用できる糖尿病性腎症の重症化予防のための指導ツールの作成を目的とする。</p> <p>なお、本政策研究・研修の実施にあたり、三重短期大学非常勤講師 石橋智奈美先生を共同研究分担者とする。石橋先生の担当科目は「臨床栄養学」「臨床栄養学実習」であり、本研究をすすめるうえで助言等いただく。</p> <p>また、本学の学生で病院や保健センターへの就職希望者、臨床栄養に興味のある学生らの参加も予定している。</p>
<p>研究計画等</p>	<p>2018年6～12月 指導ツールの作成(2か月に1回程度の研修)</p> <p>2019年1～2月 冊子の印刷・完成、研究のまとめと報告</p>
<p>備考</p>	